

あいあいあい eye 愛

2020年
4月号



2020/1/30 ゲノム編集食品の規制と表示を求めるヒューマンチェーンアクション。

食べものを選ぶということ

理事 辻朗子

お店の棚でもカタログでも、最初に目につく商品の表側。華やかだったり美味しそうだったり、思わず手に取りたくなるようなパッケージと、キャッチコピー等が並んでいます。裏側にある表示、見ていますか？添加物を気にされる方は多いと思いますが、本来一目瞭然であるはずの原材料表示が、実は分かりにくかったり、想像と違っていたりする事があります。子供のアレルギーがきっかけで添加物に敏感だった私は、食品表示には常に目を光らせているつもりでした。でも「遺伝子組み換えでない」という表示しか見たことがなく、まさか自分達が加工品や外食の中で遺伝子組み換え(GM)食品を口にしていないとは思っていませんでした。GM食品が食卓に上ってきて20年以上、世の中にアレルギーや自閉症、原因不明の難病は増え続けています。「生きることは食べること」身体を作るのは食べた物です。自然界になかった物は生き物として食べたくない。育ち盛り

子供の身体をGM食品で作らせていいのだろうか？そんな不安を抱いた母親達は、GM食品の反対運動に声を上げてきました。なのに経済重視の企業や行政は「ゲノム編集食品」までこっそりと食卓に上げてこうとされています。規制も安全審査も行わずに、です。

「生命なき食物は生命の糧とならず」医学博士・二木謙三の言葉です。命なき添加物だけでできた食べ物のようなものや、遺伝子操作でゆがめられた生命は、食べた生き物達にどのような影響を与えるのか、結果はおのずと見えてきます。モルモットにされた人達から健康被害が出てからでは取り返しがつかないのです。

ゲノム編集食品の流通を止められないのなら、せめて「ゲノム編集」という表示だけは義務化を。家族の健康・子供の未来に責任を持つ親たちが、分かりやすく選びやすい嘘偽りのない表示で、食べる物を選ぶ権利を守って欲しい。私達は諦めず訴え続けます！

「生きることは食べること」身体を作るのは食べた物です。自然界になかった物は生き物として食べたくない。育ち盛り

CONTENTS

- ▶ 農産学習会報告 … 2
- ▶ 女川原発・石炭火力発電所の今 … 3
- ▶ あいシテルの歴史 醤油・味噌編 … 4-5
- ▶ ケアメイト研修会報告 … 6
- ▶ あいコープ共生会報告 … 7
- ▶ あいコープ活用術 継続利用 … 8



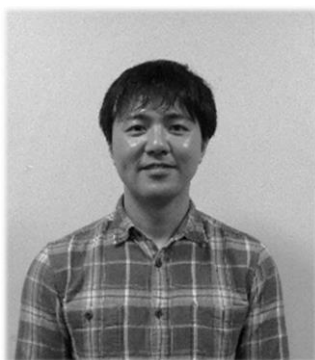
今こそ知る『産直』！ ～家族農業の10年～と産直の歩み



国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）を達成するには「家族農業」が重要だと宣言しています。全国愛農会会長でありご自身も有機農業を実践されている村上真平さんは、「家族農業」＝少ない土地で世界の80%の食物を作り、環境を守り地域の文化を守っている貧しい人々である、とおっしゃいました。大規模な土地に1品種のみの作物を植え、化学肥料を施し農薬を散布するような農業では生物の多様性が失われ、環境破壊につながります。持続可能な農で大切なことは循環性、多様性、自然によって形成される土壌の多層構造性だといいます。

小規模で多品目の作物を自然な形で育て衣食住をその土地の環境を守りながら営んでいる、今までは軽視されてきた「家族農業」の人々の暮らしが、お金では買えない「本当の豊かさ」であると全世界に示したことになるのです。持続可能な農を目指しているあいコープ三産地の生産者さんのお話を聞きながら、組合員としてサポートしていきたいと強く感じました。

理事 安部有理



農法研究会※ 新座長あいさつ

あいコープの農産は他とは違う！を広めます

2020年度から農法研究会の座長に就任しました大郷グリーンファーマーズの西塚忠樹です。今回、この場をお借りして、新座長としての意気込みをお話させていただきたいと思います。

近年、農業情勢や天候の変化などで農業を続けること自体が厳しいものになりつつあります。その中で農業を継続していくため、産地同士が

協力して環境を整備していこうという考えのもと、農法研究会は活動しております。

座長初年度になる今年度、農法研究会のテーマとして、三つの大きなテーマを設けております。

一つ目は、各産地の活動の中で見えてきた技術を他産地でも実践し、優位性のある技術なのかどうかを検証する。そこから、さらに良い農産物をお届けできる体制をつくること。二つ目は、農産物の残留農薬検査、また、栄養価検査を行い、おいしくて安全なあいコープの農産物に見える化していくこと。三つめは、それらの活動を広く発信していき、農法研究会の活動を多くの方にもっと知ってもらうこと。このテーマを実践し、あいコープの農産は他とは違う！と皆さんに知っていただく活動を今後も行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

農法研究会 座長 西塚忠樹

※農法研究会…地域循環型に基づいた農産物を栽培し、さらに農産物のおいしさ、品質、栄養、安全安心のレベルアップを目指し、産地を超えて研修や学習を行っている生産者による研究会。メンバーは宮城県内と近隣の産地から次世代の若手生産者を中心に構成している。

女川原発 県民投票条例案またも否決

「それでも署名運動の力じわじわと効いてきている」

昨年3月、11万筆以上の法定署名を集め県民から提案された「女川原発の再稼働の是非を問う県民投票条例案」は県議会で否決されました。あれから1年、議員から出された同じ提案を県議会は再び否決。昨年の運動の代表者であり、あいこープみやぎ顧問の多々良哲氏に詳しく聞きました。



県議会で否決された直後、多々良さんにお話を伺いました

今回も県議会の傍聴席は県民でいっぱいでした。

編 そんな中で、強行採決？

多 そう。傍聴席の県民を背に感じながら、提案を蹴飛ばしたんですから、それだけ与党は民意を怖がっているんだと感じました。傍聴席から意見を言っているじゃないんです、さすがに堪え切れない批判の声が上がりましたよ。それでも振り向きもしない。振り向けないでしょう。そんな与党議員を見て、県民の力は確実に迫っている、昨年の署名の力はまだ生きていると思いました。

編 県議会で議論して盛り上がることは避けたかったですね。議会って議論する場でしょう。批判覚悟で門前払いするほど追い詰められていると取られても仕方ないですね。

多 女川の審査に、原子力規制委員会がかけた期間は実に6年。長いものでした。審査終了から合格が出るまでも長かったです。それは他でもなく「被災原発」だからです。合格が出て今すぐ再稼働はできないでしょう。色々な運動を展開したくても新型コロナウイルスの影響で身動きが取れない今はもどかしいですが、再稼働を阻止するために、一層県民の声を上げて行かなくてはと思っています。
編 そうですね。諦めず声を上げ続けましょう。ありがとうございました。

多 脱原発を目指す県議の佐々木功悦さんが中心になり議員が連名で出しました。前回の否決後、有権者から沢山声寄せられたそうです。悔しい、他に手立てはないのかって。



3月3日の県議会傍聴席からは批判・落胆・呆れ、思わず声漏れた

仙台パワーステーション運転差し止めを求める裁判 エネルギー政策転換のための闘い



◆お話をうかがったのは◆
長谷川公一氏（尚綱学院大学大学院特任教授）
1954年山形県生まれ。著書に「社会運動の現在、市民社会の声」（共著・有斐閣）『脱原子力社会へ、電力をグリーン化する』（岩波新書など）。

「電気は首都圏へ、利益は関西へ、汚染は仙台へ」という歪んだ形の石炭火力発電所。ただでさえ国連事務総長から「石炭中毒」として批判されている日本、しかも私たちの身近なところで2017年10月、その発電所は操業を開始しました。同年9月27日、124名の原告団によって仙台港にある仙台パワーステーション（以下PS）の操業差し止め訴訟が起こり、2年以上、住民の健康と権利を守るための闘いが続いています。

え、50年前の公害企業のような態度。『PSの立地で地元住民にメリットがあるかは考えたことがない』との社長の発言には唖然とした」とのこと。

長谷川代表は「4大公害病を経験しながらも予防原則はなく、住民の健康が軽視されてきたのは恥ずかしい。弁護団の奮闘で原告団としては最善を尽くしてきた。この裁判は、エネルギー政策に一石を投じる歴史的な闘いの一つだと思っっている」と述べられました。

「はがきアクション」が行われます

住民の健康と権利を守るこの裁判は、審査し始め判決を待ちます。裁判官に私たちの声を届けたいという思いを届ける「はがきアクション」を行います。健康や環境を守りたいという思いを伝えるためのものです。

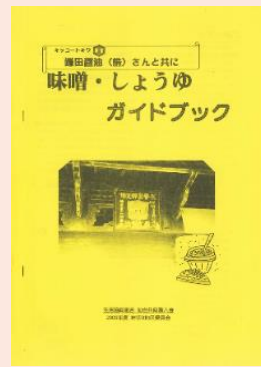
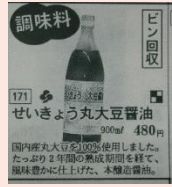


この「はがきアクション」へのあいこープの取り組みについては今後あいあい等でお知らせしていきます。

『自分たちの商品をもっと多くの人に知ってもらい、利用の輪を広げたい』その想いのもと、2018年に組合員、生産者、職員が集まりリブランディング委員会を結成。あいコープ自慢の商品をより分かりやすく、もっと身近で愛されるものにしたい…。あいコープのプライベートブランド(PB)商品の価値や魅力をみんなで考え、『特別をあたりまえに』『食べることは生きること』そして組合員・生産者・あいコープ・社会・未来にとって『五方良しの商品づくり』という3つの言葉にたどり着きました。そうして生まれた新しいブランド名とロゴデザイン。その名も『あいシテル』。4月から登場した『あいシテル』。現在に至るまでのPB商品の歴史を数回に亘って振り返ってみましょう。

醤油編

国産丸大豆醤油が誕生したのは1997年。販売時期を延ばしてでもおいしさを求めた。



左・中央…1990年代の商品カタログに掲載されていた醤油。
右…2003年度の組合員活動で作成した商品ガイドブック。地区委員会ごとに学習した商品情報をまとめ、利用結果を呼び掛けた。

鎌田醤油曰く、『味も色もまだ不十分。組合員さんが期待して待っていてくれるのだから、納得のいく味ができるまでは出荷できない。』と、更に4~5カ月の熟成期間を置くことになったのです。そして約2年の熟成を経て、97年2月、国産丸大豆の供給が始まりました。

かつて、『せいきょう醤油』(輸入大豆原料の本醸造醤油。安い価格設定)、『うす塩しょうゆ』、『国産丸大豆醤油』の3商品がカタログに掲載されていた時期もありましたが、『うす塩』は3.11の東日本大震災により製造ラインが破損、また『せいきょう醤油』は輸入原料を使った醤油がPBなのは有り得ない、という組合員からの意見により取り扱い中止に。結果、2010年から国産丸大豆醤油のみの取り扱いとなりました。

近年では多様な調味料の登場により本物の醤油を使う頻度が少なくなっているようですが、このスペックの本醸造醤油をこの値段で買えるなんて、他に類を見ないのでは。当然化学調味料は不使用、100%国産原料使用、遺伝子組み換え原料不使用。ボトルはデポジット対象なので、洗ってあいコープに返却すれば20円が戻ってきます。瓶の洗浄を行うのも、鎌田醤油。

本物を求める組合員の声で生まれた『あいシテル』のしょうゆを利用できるのは、組合員の特権ですね。

国産丸大豆の生産者、鎌田醤油との出会いは1983年。設立当初、あいコープ(当時は仙台共同購入会)は県外メーカーの味噌や醤油を扱っていません。地元の味噌・醤油が欲しいと探しますが、なかなか生協仕様の商品を共同開発してくれる所が見つからず、幸運にも鎌田醤油と出会うことができ、すぐに取引が始まりました。

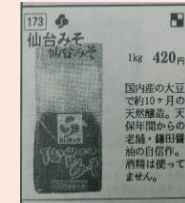
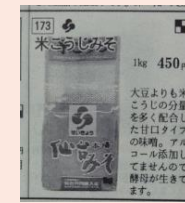
初めはアルコール無添加ではあるものの、輸入脱脂大豆が原料の醤油。やはり国産の丸大豆醤油が欲しい!と95年に仕込みを開始、予定では1年半もすれば仕上がるだろうと見込んでいましたが、いざ試食してみると、『ん?…』。



900ml 518円(税込559円)

味噌編

組合員が望んだポイントは、国産原料使用と、生きた味噌であること。



実は、ビニールパッケージの上部は1cmほどシーリングされていない。



始めは『仙台みそ』1種類だけの取り扱いでしたが、途中、信州みそのような甘めの味噌はいかが?と鎌田醤油が『米こうじみそ』提案し、今の2種類になりました。当時は発酵を止めるためのアルコールが添加してありましたが、本来の『生きた状態の味噌』が食べたい、という組合員の声によってアルコール無添加になりました。ただ、そうすると味噌が熟成するにつれてパッケージが膨らんでしまいます。そこで上部を少し開けた状態に仕上げ、その上から紙のシールで覆うという方法を取りました。

ところがやはり味噌の呼吸によって袋が膨らんだり、液漏れが起こりやすいなどの問題が相次ぎ、現在のバルブ(空気穴)のパーツ付きのパッケージへと変更したのです。そのバルブはあいシテルになっても受け継がれています。



米こうじみそ 1kg 498円(税込538円)
仙台みそ 1kg 489円(税込528円)

つゆ編

1991年7月に登場以来、常に商品を見直し続けてきた、まさにこだわりのつゆ。



『生協めんつゆ』は鎌田醤油の醤油をベースに共同開発した商品で、1991年に登場しました。出汁の配合、分量の組み合わせを試行錯誤して生まれた生協めんつゆ。組合員から一定の



万能つゆ 900ml 646円(税込698円)
麺つゆ 500ml 418円(税込451円)

支持を受けていながらも、都度見直し、それぞれの時代の組合員のニーズに合った改良を続けています。現在は、煮物などに適した万能タイプと、めんつゆタイプの2種類のラインナップになっています。



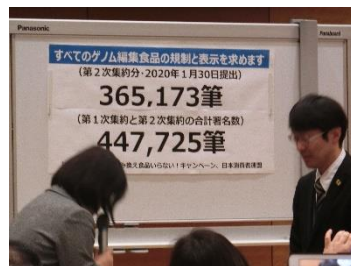
鎌田醤油
鎌田雅敬専務

我々メーカーが作った、組合員さんが求める商品ではあるけれど、直接私たちが売るのはなくて、この『あいシテル』のパッケージであいコープが包み込んで、皆さんの所に届けてくれる、ってことなんですよ。

『あいシテル』商品と言われ続けるように、愛に溺れず、より愛されるように、これからお互い、努力していきましょう。

報告 1/30 ゲノム編集食品反対署名提出

ゲノム編集食品の流通を前に始まった「すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求める」署名活動。1/30、第2期集約365,173筆を関係省庁に提出する集会在衆議院第1議員会館で開かれ、あいコープみやぎも参加した。第1期集約分を合わせると、実に447,725筆に上る(内あいコープ集約は2,029筆)。署名呼びかけ開始からわずか8ヵ月程度でこの数が集まるのを見れば、いかに消費者がゲノム編集食品を受け入れていないかが分かる。しかし、消費者の味方であるはずの消費者庁からは、依然として『表示』を前向きに検討するという言葉は聞くことはなかった。消費者の『選ぶ権利』のために、表示の義務化を求め続けていきたい。同日は、厚労省を囲んで「規制と表示を求める」ヒューマンチェーンアクションも行われた。



集まった署名を提出する市民団体代表

報告 1/30 パーム油発電所建設撤退を求める活動

2019年11月、あいコープは、環境NGO団体FoE Japanの呼びかけに賛同し、HISが進める宮城県角田市のパーム油発電建設の撤退を求める署名に協力した。本来なら、20万筆にも及ぶ署名をHIS本社(東京新宿)で提出する予定だったが、受け取りを拒否されたため、郵送で届ける結果となった。1月30日、パーム油を使った火力発電所の規制を求める各地の住民団体が集まり、参院議員会館で記者会見を開き、あいコープみやぎも出席した。既にパーム油発電所が稼働している福知山市(京都)では、住民が騒音や悪臭に悩まされるなどの深刻な影響が出ている。今後も角田のパーム油発電所に対して注視を続ける必要があると見られる。



住民への影響を説明する「三恵バイオマス発電所悪臭騒音対策会議」(福知山市)の代表(右)



誰もが安心して

暮らせる社会を

1/28 (火)
ケアメイト
研修会

ケアでも役立つ

「大根1本使い切り」を教わりました

今年度第2回目のケアメイト研修会を、1月28日(火)、エルパーク仙台食のアトリエにて開催しました。NPO法人とくほく食育実践協会の食育コンダクター3名の方を講師に迎え、たすけあいの食事ケアの際に参考となるような、「大根1本使い切り」の調理を教えていただきました。デモンストレーションや説明を聞いた後、グループごとに調理開始。豚小間肉と大根の炒め煮、おとうふあげのおろし煮、ハリハリ鍋、大根餅の4品を作ります。皆で協力し合うと和気あいあい。調理の合間にはなますや大根の甘酢漬けの説明も受けました。大根の葉は菜っ葉飯など食コンさんが作ってくれた3品が加わり、7品の大根づくし料理がテーブルに並びました。「この大根餅おやつにいいよね」「おいしいね」と試食も楽しみました。その後は情報交換を行い、日頃のケア(た

すけあじや集団託児の活動で感じていること、疑問に思っていること等を話し合いました。「大根で沢山の料理を実際に作ることが出来とても勉強になりました。」「ケアに行くお宅でも役立つようなレシピだと思いました。」「情報交換では色々お話できてよかったです。」「等の感想をいただきお腹も心も満たされた研修会となりました。

理事 三浦一枝



まんま通信のある暮らし

産地応援企画

新米と産直お野菜たっぷりの温活鍋



大郷の米粉で
がんづき作りに挑戦

1/28(火)
しおさい
地区企画

季節は大寒、「温活鍋」で体の芯から温まりたい組合員16名が参加しました。

まず、商品部農産チ

ームの千葉主任から青果の「トライアイズ」について説明してもらいました。これは2019年より始まったあいコープ独自の栽培区分。このネーミングには「生産者の挑戦」「トライ」、「あいコープの「私、愛、瞳」」、複数形の「s」は生産者と組合員・生協が協同で育む農産物という意味が込められているそうです。

次に大郷みどり会西塚忠樹さんから無農薬

栽培のお米作りへの想いを伺いました。また台風被害に関して、組合員からの大きな支えに感謝の気持ちが述べられました。

お話の後はこの度講師登録した組合員さんの料理講座。葉膳の考えに基づき、腎臓や肺を温める白・黒の食材と根菜類のお鍋をたっぷりといただきました。鍋の味つけは鶏肉とだしのみ。素材の味が生きていました。大郷の米粉で蒸しあげたがんづきはもちもちの食感。食べ応えもありおいしかったです。

理事会議事録抄

2020年3月3日(火)

- ▼新型コロナウイルス感染症拡大に対する対応方針の報告を承認した▼宅配事業利用約款を承認した▼基本給改定について承認した▼2月組合員交流会の振り返りを行った▼2020年度通常総代会への提出議案を決定し総代会に至る日程を確認した▼議案文案を協議した▼「あいシテル」お料理コンテスト企画書を承認した▼魚食プロジェクト認証企画書を承認した▼節電アクション2020総括企画企画書を承認した▼2020年度仙台市3R講師派遣事業のメニューについて決定した▼組合員活動における講師登録の講師料について決定した。

組織概要

(2020年2月分)

【組合員数】	13,416名
【供給高】	195,553千円
【一人実利用高】	5,310円/週
【出資金】	1,162,736千円



●生産者のご苦勞を(苦勞と思わないような明るい方でした)を聞くことができて良かったです。鍋布団も記事では見ましたが、実際よく使っている方がいて納得しました。(作るぞー!)(温活鍋参加者アンケート)

第31回あいコープ共生会総会

新メンバー4名を加え新幹事会選出



共生会幹事会に新しく選ばれた皆さん(敬称略)

【前列右側から】西塚忠樹(大郷グリーンファーマーズ:農産)、細谷滋紀(七郷クローバーズファーム:農産)、阿部寿一(丸善阿部商店:水産)、片桐道也(天童果実同志会:農産)
 【後列右側】長谷部幸子(グリーンネットワーク:保険)、菅原達徳(はさま自然村:農産)、櫻田真悦(パン工房わ・わ:パン)、大須賀裕(花見園:卵)、鎌田常太郎(鎌田醤油:加工)、高橋利彰(高橋徳治商店:水産)

2月28日、仙台市内の会場で第31回あいコープ共生会が開催され、57会員75名とあいコープ役員、とうほく食育実践協会の22名が参加しました。総会の前半は「生産者」とあいコープが協同ですめる商品活動」をテーマに、あいコープからはみやぎと、くしまの事業と活動の報告、生産者からは生協と一緒に取り組んだ産地交流、商品学習、商品開発などの事例報告が8会員から行われました。

総会後半では議長に青木商店の青木純さんを選出し議案審議が行われ、参加者より活動方針に福島第一原発の汚染水海洋放出問題について反対すること、原発事故と廃炉問題について認識を深めていくべきだという問題提起があり活発な議論が行われ、動議を受けて汚染水海洋放出反対など提起された問題を方針に盛り込むことが拍手承認されました。

今回の総会をもって共生会会長である大郷グリーンファーマーズの郷右近秀俊さん、日向養豚の鈴木豊さん、はさま自然村の袋和人さんが退任され、新しく花見園の大須賀裕さん、パン工房わ・わの櫻田真悦さん、はさま自然村の菅原達徳さん、グリーンネットワークの長谷部幸子さんが幹事会に加わりました。新会長には細谷滋紀さんが選ばれました。



私のオススメ



私のおすすめは、大郷みどり会の“小松菜(農薬不使用)”です。我が家では、みそ汁といえばみどり

会の小松菜です。みどり会の小松菜は、エグみもなく、葉もしつかりとしています。それは徹底した土づくりのおかげです。ハウス内の温度を60℃と高くして土壌殺菌を行い、100%有機肥料を使用し、成長度合いに応じた水分調整など、手間暇をかけて育てています。健康に育った大郷みどり会の“小松菜”を是非お召し上がり下さい。 事業部エリアリーダー 竹内康雄

編集後記

東京オリンピック延期の可能性があることを、今日の参議院予算委員会で首相が明言しました。日々刻々と変わる新型コロナウイルス感染症拡大防止措置。たくさんの問題はありますが、今回、いいことだな、と感じたのは、人々が「工夫する」ことを思い出したこと。考えて、「なければ自分で作る」で済まなければならぬ方法を考える。物資の買い溜めに走った人たちもいたけれど、家族でゆっくり工夫して過ごすという、人本来の力を取り戻せた人もいるんじゃないかな。うん、悪い事はかりじゃない。

副理事長 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいへのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つぶやき』も大募集中!

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2020年1月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	30件	利用延べ人数	44名
集団託児	19件	◆ケア時間	
慶弔・出産	13件		157時間
電話相談窓口	3件		
計	65件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



022-284-7277 平日 9:00~17:00

4/14(火)・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30

4/14(火)・法律相談 弁護士 倉林千枝子氏
13:30~15:30

4/14(火)・傾聴 NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏
10:00~12:00

4/21(火)・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00

介護相談 (ケアプランセンター山崎彰子氏) は相談希望日をうかがいます。
「思春期相談」「くらしの相談」は2019年度をもって終了しました。

▼各相談窓口前週の金曜日まで予約して下さい。随時受け付け可能です。
▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●今年からあいコープを始め、今日のようなイベントがある事を知り初めて参加しました。(中略)思いがけず20年らしいの友人にも会ってやっぱり行動するって大事だなと思いました。(2月組合員交流会参加者アンケート)

新シリーズ!



その1 「継続利用」

毎週必ず届くから買い忘れなし!
家族のお気に入りはやっぱり「継続利用」だね



あいちゃん
組合員歴半年の主婦
好きな商品はいいこーぷのパン

【継続利用】で登録しておけばその都度注文しなくても**毎週決まった数が届く**の。忘れちゃった!ってこともないし、年末年始のいつもと違う配送スケジュールで注文そのものを忘れちゃっても、継続で頼んでいた物だけは届くから何度か助けられたよ。

わあ!隣にお醤油借りに行くみたいで素敵★(笑)
うちはね、牛乳・卵・ワインナー・食パン・豆腐、あと豚肉は**【継続利用】**にしてるから安心なの
けいぞくりよう?

あら。あるよね、そういうこと。うちもよくプリン作るでしょ?あいこーぷの卵と牛乳を頼み忘れたら他では買えないから死活問題!ワインナーも無添加で美味しくてあの値段って、スーパーで売ってないから困るね。うちのものがぐぐぐニウィンナー1つ貸してあげようか?

ああく...どうしよう...
どうしたの、あいちゃん?
咲子ちゃん、今日ね、あいこーぷの配送の日だったんだけどね、ワインナーの注文忘れちゃったみたい。どうしよう、今週うちの子お弁当の日あるのに!

へえ。そんなシステムがあるんだ!でも必要ない時はどうするの?帰省で留守にするときとか。
注文書に書いたり、コールセンターに電話して**簡単に変更が出来る**んだよ。ネットでも「今回だけお休み」とかできるし。パパが納豆にハマるとしばらく継続したり、子供がヨーグルトにハマると継続したり、飽きたらまた別の物にしたりしてるよ。いい商品なのに利用が少ないからってなくなっちゃったら困るからね、応援の意味も込めて毎週食べてるんだ!

今は**40品目もあるよ!**麺類やミネラルウォーター、コーヒーとか、あとギョウザとかも!**注文紙の下の方に【継続利用商品欄】**ってところがあるから見てみて!
よし。来週からワインナーは継続にしちゃおう!!咲子ちゃん教えてくれてありがと!!でも、とりあえず今週はワインナー貸してね(笑)

いいね。**【継続利用】**やってみようかな。必ず買うものって色々あるよね。種類は多いの?

拡大!
注文書のこの部分

←これで毎週、パスちゃん牛乳3本と花たまご1パックが届く

拡大!
注文書のこの部分



今回のナビゲーター
後藤咲子さん(組合員歴9年)
あいこーぷに絶大な信頼を寄せる、『自称ズボラな主婦』。豚肉が3種類セットになった「こめぶたセット」を継続利用しているのは、あいちゃん牧場への応援の気持ちと、注文の肉選びに迷いたくないからだそう。



Calendar

* 今後のイベント *

4/14(火) 仙台港
遺伝子組み換えナタネ調査

場所/ 仙台港
時間/ 10:00~12:00

4/18(土) 食と農 委員会
畑に行こう 第1回
オリエンテーション
じゃがいもの植え付け

場所/ あいこーぷみやぎ 日の出町センター・七郷園場
時間/ 10:00~12:00 登録者のみ

4/24(金) 石巻港
遺伝子組み換えナタネ調査

場所/ 石巻工業港
時間/ 10:00~12:00

4/27(月) 2020年度
委員オリエンテーション
ゲスト講師
家兄園 大須賀木さん
元あいこーぷみやぎ理事長 吉武洋子さん

場所/ 日立システムズホール 交流ホール 託児:和室
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料
※参加に関するお問い合わせはあいこーぷみやぎまで

4/28(火) 脱原発エネルギーシフト委員会
みんなで話そう!でんきのこと
これからの電気の使い方 座談会

場所/ 日立システムズホール 和室1・2 託児:和室3
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中—

地区委員会は
楽しい!
おいしい!
学べる!!
あいこーぷの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当:組織運営室長 豊嶋)

